みんなで創り・育む 安心して暮らせる『わがまち葛飾』の実現

葛飾社協だより



平成24年4月25日号 No.144

■発 行 社会福祉法人 葛飾区社会福祉協議会
〒124-0006 葛飾区堀切 3-34-1
地域福祉・障害者センター（ウェルピアかつしか）3階
電話:5698-2411(代表) FAX:5698-2513
■編 集 広報委員会 ■ホームページ http://www.katsushika-shakyo.com

社協問合せ先一覧

企画総務係	5698-2411
	FAX 5698-2513
福祉サービス係	5698-3216
貸付・助成係	5698-2457
ファミリー・サポート・センター	5698-4151
しっかりサポート	5672-2833
ワークスかつしか	3692-3181
受験生チャレンジ支援貸付担当	5671-5175
小地域福祉活動担当課	5698-2435
ボランティアセンター	5698-2511
	FAX 5698-2512

区民の皆さまに支えられ、

葛飾社協は法人化50周年を迎えました

葛飾社協は、多くの区民や関係者のご支援をいただきながら、様々な福祉活動や事業を展開してまいりました。

これからも、葛飾区に暮らす全ての区民が、住み慣れたまちで、自分らしく、安心して暮らし続けることができるよう、様々な事業を展開することにより地域福祉の一層の推進に努めて参りたいと思います。

皆様方のご尽力、ご協力に対し、深く感謝を申し上げますとともに、今後とも社協へのご支援・ご協力をお願いいたします。





葛飾社協のキャラクターです。
名前は、荒川の「ア」江戸川の「エ」中川の「ナ」を取って**アエナ**です!
これからも、よろしくお願いします!

アエナちゃん

東金町在住の甲斐健吾さんから、応募いただきました「アエナちゃん」に決定しました。

周年事業一覧

- 社協キャラクターの決定
- 記念式典の開催・記念誌発行
- 社協だより 年4回発行から年6回発行に拡大
- 毎日訪問事業の対象者拡大
- 各地区の小地域福祉活動において冠事業実施
- ボランティア活動推進計画策定
- 成年後見講演会の開催

毎日訪問

「毎日訪問事業の対象を拡大」
～ひとり暮らしの高齢者へ“安心”を配達～

この事業は、ひとり暮らし高齢者へ乳酸菌飲料を毎日（月曜～金曜）配達する際に、声かけすることで安否確認を行うものです。

配達員が利用者の方とお会いできなかった時等は、葛飾社協に連絡が入り、異変等が考えられる状況にあれば、申請時にお聞きしている緊急連絡先等に連絡するなどの方法により、利用者の安否を確認いたします。

平成24年度から利用しやすくするため、次のように条件を拡大しましたので新たな方々のご利用をお待ちしています。



◆拡大内容
一、利用年齢の引き下げ（70歳以上から65歳以上へ）
二、『おおむね500m以内に2親等以内の親族がいないこと』の条件廃止
※なお、適用は平成24年4月1日からです。

◆費用
乳酸菌飲料、1本につき10円です。

◆申込方法
社協窓口のほか、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）にある申込用紙に必要事項を記入の上、ご提出ください。

◆申込・問合せ
福祉サービス係

広告

歯科往診します。

・自宅療養中で通院が困難な方など
各種保険取扱
あさひ歯科
〒124-0023 葛飾区東新小岩7-24-8
☎03-5670-5215

6月5日号の広告主を募集します!

お店や企業のPRなどにご活用ください。

※広告の大きさ	縦7cm×横5.5cm
※掲載料金	1面下段 25,000円 4面下段 22,500円
※申込み	申込書は、社協ホームページからダウンロードするか、お電話いただければ、お送りします。
※締め切り	5月9日（水）必着
※問合せ	企画総務係

社協とは…



全国の市区町村に法律で設置された社会福祉法人です。区民や地元自治体と協力して支援を必要とする方々への福祉活動や事業を推進する団体です。事業費用は、主に寄付金や区民の方々等からの会費により支えられています。

■企画総務係 5698-2411 FAX 5698-2513
■福祉サービス係 5698-3216 ■貸付・助成係 5698-2457
■ファミリー・サポート・センター 5698-4151
■しっかりサポート 5672-2833 ■ワークスかつしか 3692-3181
■受験生チャレンジ支援貸付担当 5671-5175
■小地域福祉活動担当課 5698-2435
■ボランティアセンター 5698-2511 FAX 5698-2512
FAXで申込みの場合、「講座等の名称、住所、氏名、フリガナ、電話番号」を記入してください。

講座・募集

申し込み方法
各講座・募集へのお申し込みは「連絡先一覧」の各担当係へ直接お申し込みください。

自分発見と新たな一歩!

しあわせサービス協力会員募集!

あなた自身と地域のために活動してみませんか?

しあわせサービスは、高齢者などへちょっとした家事等をお手伝いする区民同士の共助による有償の会員制サービスです。協力会員として掃除や買物、洗濯、食事づくりなどにご協力いただける方を募集しています。

●対象 18歳以上の健康な方なら特別な資格は必要なく、男女は問いません。

●登録説明会日程
①4月26日(木)午後2時～4時
②5月15日(火)午後2時～4時
いずれかにご参加ください。

●会場 ウェルピアかつしか1階 社協研修室

●持ち物 ①健康保険証または運転免許証 ②印鑑

●その他 活動には利用会員の負担で1時間につき700円が支払われます。利用会員登録はいつでもできます。

●申込・問合せ 福祉サービス係

平成24年度 ボランティアグループ助成金のお知らせ

ボランティア活動の発展のため、区内のボランティア団体へ活動費を助成します。

●申請条件(全ての条件を満たしていること)
①区内で活動しているメンバーが5名以上いる団体であること。②ボランティアセンター事業への協力等をしていただけること。③かつしかボランティアセンターに、平成24年5月末現在で団体登録済みであること。④団体登録している会員のうち、2/3以上が区内在住であること。

●対象事業
【A区分】
・学習会や研修活動の経費
・器具・機材の整備費
・モデル的活動の経費
・ニュース発行費
・ボランティア活動の育成・推進に必要な経費
【B区分】
・消耗品費や通信運搬費等

●助成金額(一団体の上限)
A区分／7万円
B区分／5千円

●申請期間 5月17日(木)～5月31日(木)

●申請方法 直接持参または郵送(5月31日必着)

●申込・問合せ ボランティアセンター

※申請資料は5月7日(月)から、窓口で配布(ホームページからダウンロードも可)。

生活支援ボランティア募集

高齢者や障がいのある方々の『ちょっとした困りごと』を、お手伝いする生活支援ボランティアを募集します。

●対象 18歳以上の健康な方。特別な資格は必要なく、男女は問いません。

●応募期間 随時

●活動内容 窓拭きや蛍光灯の交換、小規模な植木のせん定、草むしりなど概ね1時間程度の活動です。

●活動費 1回の活動につき300円を支払います。

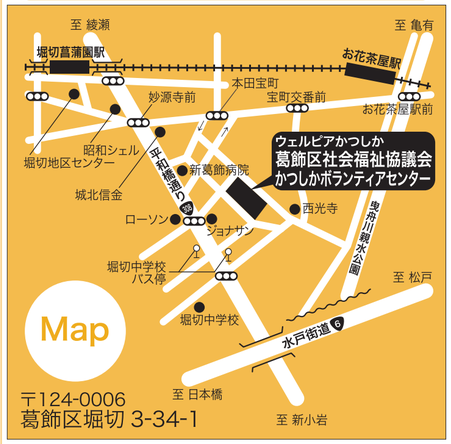
●申込・問合せ ボランティアセンター

ひとり親家庭等ホームヘルパー派遣事業

ひとり親になって間もない家庭を支援します!

小学校3年生までの児童を扶養し、日常生活等に支障を生じている場合、一定期間ホームヘルパーを派遣する事業です。家事援助やお子さんの見守り等による子育て支援です。利用料、派遣回数は、お子さんの年齢や保護者の収入等により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。なお、ご利用には事前登録が必要です。

●申込・問合せ 福祉サービス係



生活福祉資金貸付のご案内

所得の少ない世帯、障がいのある方・療養中あるいは要介護の高齢者の属する世帯を対象とする、世帯の自立を図るための貸付制度です。
※他に資金を用意できる方法がある場合は、対象となりません。

●貸付資金と貸付上限額
別表のとおりです。

●貸付条件等
・収入が基準以下(例：2人世帯で平均月額26万1千円以下)の世帯で現在生計維持ができていること。
・原則として連帯保証人が必要です。保証人がいれば無利子です。保証人がいない場合は年利1.5%です。なお、教育支援費については無利子です。
・教育支援費は東京都私学財団(高校)、日本学生支援機構(大学・専門学校)等、他の無利子貸付制度を優先してください。
※これらは在学中の学校で相談できます。
・地域の民生委員の面接があります。
・申込から貸付まで1ヶ月程度かかります。
※この他にも条件がありますので、詳しくはお問合せください。

●申込・問合せ
貸付・助成係

主な貸付内容

貸付目的			貸付上限額	返済期間
転居費	やむをえない理由により転居が必要な場合の費用		50万円	3年以内
療養費	病気、負傷による治療のため必要な経費		170万円	5年以内
葬祭費	葬祭に対し必要な費用		50万円	3年以内
教育支援費(学校教育法に規定する学校)	入学金		50万円	14年以内
	授業料	高校・専修学校(高等課程)	月額3万5千円	
		高等専門学校・短期大学・専修学校(専門課程)	月額6万円	
		大学	月額6万5千円	

☆上記以外にも目的により貸付資金がありますので、ご相談ください。

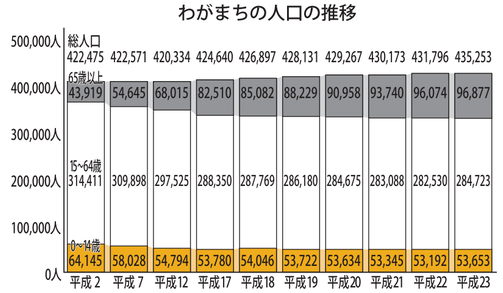
広告

心の相談室
カウンセリング・ルーム
ハーモニー
個人面談・全予約制
1時間 3,000円 / 2時間 5,000円
♥♥♥ こんなとき、ご利用ください! ♥♥♥
♥ 家庭内・職場・友人関係でのトラブル。
♥ 自分は不幸に思える。毎日がつまらない。
♥ あせり、不安、恐怖がある。
♥ さみしい、苦しい、悲しいが消えない。
TEL03-3607-4090
〒125-0042 葛飾区金町3-41-20

かつしか調査隊
～年齢別に見る人口～

私たちのまち葛飾区は人口が43万人を超え、微増の傾向にあります。
年齢別では、平成23年の65歳以上の人口は96,877人と10万人弱となりました。総人口に占める65歳以上人口の割合を示す高齢人口比率は22.3%であり、増加傾向です。逆に15歳から64歳の生産年齢人口比率は減少傾向にあり、14歳以下の年少人口は5万3千人台で推移しています。

わがまちの人口の推移



広がる福祉の「わ」

平成24年度　葛飾社協が取り組む福祉事業

葛飾社協では区民の力を必要としています。

今、皆さんの住む地域には高齢者の孤独死、目に見えにくい児童虐待、低所得者・就業困難者の増大など様々な地域課題があります。葛飾社協はそれらの地域課題を区民の皆さんと一緒に解決し、“みんなで創り・育む安心して暮らせる「わがまち葛飾」の実現”を目指しています。

※主な事業は次のとおりです。

キーワードは 子育て
保育園の送り迎えなど、育児と仕事の両立を応援するファミリー・サポート・センター

キーワードは 絆
地域の福祉課題を地域住民が自ら解決していく小地域福祉活動


柴又ふれあいネットによるリンパ体操

キーワードは 安心
ひとり暮らし高齢者に毎朝乳酸菌飲料を配達し、安否の確認を行う毎日訪問事業



他にも様々な事業を行っています。詳しくは、電話か社協ホームページでご確認ください。　●問合せ　企画総務係

平成24年度は第2次葛飾区地域福祉活動計画の初年度です。

●この計画は、葛飾社協が地域の直面する様々な生活課題・地域課題について、区民・地域・民間団体などと連携し、一緒に解決していくための活動や取組みを明らかにしたものです。地域福祉活動の展開により、地域に暮らすすべての人々が、住みなれたまちにおいて、安心して、いきいきと暮らし続けることができる地域社会の実現をめざします。

●4つの重点的取組み
1 小地域福祉活動の推進
2 社協PRと福祉教育の推進
3 ボランティア活動の活性化
4 権利擁護センター機能の活用

●計画期間　平成24～28年度

●詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.katsushika-shakyo.com/plan/index.html
活動や会員としてのご参加等、区民の皆さまの葛飾社協へのご支援とご協力をお願いいたします。

平成23年度葛飾社協会費

社協会員の皆様ご協力いただきありがとうございました!

葛飾社協が様々な福祉事業を行うためには、区民の皆様のご協力が不可欠です。葛飾社協の事業は実際に活動に参加している方や、社協会費や寄附金など財源の面で支えている方々によって成り立っています。

今年度も年間を通して、社協会員を募集しています。多くの方々が社協会員となられ、会費という形によりご協力していただくことで、さらに地域福祉の輪は広がっていきます。

仕事や育児などで活動に参加することが難しい若い世代の方々にも、社協の目的や事業にご理解いただき、ぜひ、社協会員としてもご協力をお願いいたします。

会員数 9,791人
会費総額 19,054,000円



●問合せ　企画総務係

善意のご寄附 ～平成24年2月1日から3月14日まで～

今回もたくさんの善意のご寄付をありがとうございました。皆さまからいただいたご寄附は、社協の貴重な資金として、地域福祉を推進していくための事業に活用させていただきます。なお、掲載については細心の注意を払っておりますが、万一誤字等がございましたら、ご容赦願います。(順不同・敬称略)

皆さんありがとうございました

東京ガス ライフバル葛飾 (23.12.19)



11月に開催したガス展でバザーを行い、その収益金を葛飾区のために役立ててほしいと寄附していただきました。　(100,000円)

葛飾区商店街連合会 (23.12.20)



区内の商店街からの募金を地域福祉のためにと寄附していただきました。　(600,455円)

イトーヨーカドー 労働組合 常磐南ブロック (24.1.20)



区内の5店舗(立石、高砂、四つ木、亀有駅前、アリオ亀有)が平成9年から12年(夏・冬)にかけて行った募金を葛飾区の福祉のためにと寄附していただきました。　(266,150円)

東京聖栄大学学友会 (24.1.27)



“今、日本は支え合わなければならない時にある”との想いで、「聖栄葛飾祭」の収益金の一部を寄附していただきました。　(50,000円)

※写真を掲載した寄附者は、143号(2月25日号)の寄附者一覧に掲載した方々なので、今回の一覧には掲載されておりません。

本会への福祉事業資金として

○日蓮宗東京東部社会教化事業教会	30,000円
○佐藤康明(東水元3)	3,000円
○手話講習会中級昼クラス	735円
○葛飾区グラウンド・ゴルフ協会	15,000円
○カトレア美容室	5,000円
○大根田善二郎(高砂3)	50,000円
○パチンコ一福	100,000円
○瀬川淑子(金町3)	10,000円
○サークルせせらぎ	27,094円
○関塾　亀有駅前進学学院	50,000円
○國取り物語　九州の陣	30,000円
○auショップ金町	100,000円
○ドコモショップ 亀有店	100,000円
○ドコモショップ 綾瀬駅前店	100,000円
○ドコモショップ アリオ亀有店	100,000円
○ドコモショップ 金町駅前店	100,000円
○点字グループ・アイ	3,000円
○サンサンクラブグラウンドゴルフ部	13,700円
○かつしか盆踊りチャリティフェスタ実行委員会	15,000円
○匿名9件	100,000円

●問合せ　企画総務係

福祉教育

児童・生徒のボランティア・福祉教育の取り組みを支援します!

<体験学習に対する感想です>

●「【福祉】って障がいなどでかわいそうと思ってた。でも、辞書で調べたら【人の幸せ】と書いてありびっくりしました。シニアや手話の福祉体験で意味がわかりました。」
小学6年生の感想

●「点訳をやってみて、自分は目が見えるけど、目の見えない人は指先で点字を読み取るので大変だなぁと思いました。」
中学1年生の感想


〈清和小学校　車椅子体験〉


〈大道中学校　シニア体験〉

児童・生徒の方々に貴重なボランティア体験をしてもらうため、車椅子や点訳、手話などの体験をする「ボランティア出前講座」を行っています。

昨年度は、区内の小・中・高校で、計72回実施し、延べ7,624名の児童・生徒が参加をしました。

また、学校だけでなく、多くの方々にボランティアや福祉に関心を持っていただきたく、自治町会や施設などへも講座を出前しますので、ぜひ、ご相談ください。体験用具も貸出しています。　◆問合せ　ボランティアセンター

●積極的に福祉教育に取組んでいる学校を「ボランティア協力校」と指定し、その活動に助成金などの支援を行っています。

平成23年度協力校一覧表

	小学校		中学校
1	南綾瀬	1	本田
2	金町	2	綾瀬
3	青戸	3	堀切
4	清和	4	大道
5	綾南	5	小松
6	南奥戸	6	常盤
7	原田	7	一之台
8	花の木	8	青葉
9	細田	9	葛美
10	飯塚		
11	よつぎ		

今年度はさらに5校増やし、計25校を指定する予定です。

敬老

地区高齢者支援活動のため、70歳以上の方の名簿を自治町会へ提供します。

70歳以上の方でこの名簿にご自身の情報の登載を希望されない方は、6月25日(月)までにご連絡ください。

葛飾社協では、会員の方からの会費や歳末たすけあい運動の配分金・区補助金を活用して自治町会等が行う高齢者を支援する健康づくりや生きがいづくり事業、敬老事業等へ助成金を交付しております。

その際、葛飾社協では、自治町会などが地域の高齢者の支援活動を行うための参考として、区から70歳以上の方の名簿の交付を受け、自治町会にこれを提供しています。

なお、この名簿の提供については、敬老行事や高齢者支援事業等の目的以外に使用しないこととした協定を名簿提供先となる自治町会などと結び、個人情報保護法に準拠した適切な取り扱いをいたします。

◆問合せ・お申し出先　貸付・助成係

災害ボランティア

～葛飾発東日本大震災復興支援ツアー報告・意見交換会～

ボランティアバスツアー参加者の生の声!

バスツアーに参加した5名の方が30名の区民の方々と意見交換しました。



【浅野佳之さん】
「現地に足を運んだものの役割として、見たもの、感じたものを伝えることが大切だと感じた。」

【葛飾総合高校の中山君、森本さん、藤田君】
「私たちが知っていることは、テレビで報道されているほんの一部のことだけだと感じた。」、「自分たちが普通に生活できている幸せは、当たり前じゃないんだということに気付いた。」

【高木信明さん】
「このツアーをきかっけに支援活動を通して復興する様子をこの目で見届けていきたい。」

実際に被災地を自分の目で見て、色々なことを感じ考えられたことが報告されました。今後も葛飾社協ではボランティア活動支援等を通じて、被災地復興のお手伝いをしてまいります。

皆さま方の積極的な参加をお待ちしています。

※今年度は6月にツアーを予定しています。詳しくは社協ホームページでお知らせします。



福祉ひとロメモ

「イクジイ」

出産後も働き続ける女性の増加や保育園不足などで、地域の子育て支援ネットワークの拡充を求める声が年々強まっています。

今、「イクメン」と呼ばれる育児に熱心な父親が注目されていますが、地域の子育て支援に積極的な高齢男性「イクジイ」も増えているそうです。

昔は地域で子育てをしましたが、今では気軽に親が相談できる場所がなくなってしまいました。

孫のようにかわいい子どもたちとともに楽しい老後の生活を過ごしながら、地域に貢献する。ぜひ、子どもが大好きで、地域で楽しい毎日を送りたいとお考えの方は、保育園の送迎や子どもの一時預かりなどを行っている葛飾社協のファミリー・サポート・センターのサポート会員として地域参加してみませんか。

●問合せ
かつしかファミリー・サポート・センター



活動者の声

しあわせサービス

～10年以上活動を続けた協力会員さんから～


協力会員のAさん

12年間で様々なお宅へ伺い、「来週も待っているからね!」と私の活動日を楽しみにしてくださる高齢者とのふれ合いは、自分のやりがいになりました。協力会員としての活動は、ご近所づきあいにも役立ってますよ。

しあわせサービスは、区民の方の参加による相互支援事業です。活動してみたいという方は4面をご覧ください。